

支援金の相談は民商へ



時折小雨のパラつくあいにくの天気でしたが、元気に行動しました。

宣伝・対話統一行動

5月16日、緊急事態宣言の影響による売上減に対する損失補償「二時支援金」の申請期限（5月末）が迫る中、奈良民商は宣伝・対話行動にとりくみ、相談は民商へのチラシを941枚配布、17人と対話しました。

奈良民商ニュース

発行 奈良民主商工会
奈良市大森西町13-16
電話0742-33-7266
FAX 0742-34-5826
HP naraminsyo.jp

記帳会

6月の記帳会は、
下記の日程で開催
します。

【日 時】
6月16日（水）
13:30
【持ち物】
領収書・帳簿
筆記用具・電卓



絵手紙教室

絵手紙教室は、新型コロナウイルスの感染予防と、みなさんの健康を守るためにしばらくお休みします。



地図を見て作戦を練る参加者たち

この日、浜中達也会長（製菓 大安寺支部）、嶋守秀利副会長（印刷関係 南支部）、三輪昭三共済会会長（大工 済美南支部）、宇野達雄さん（縫製 学園前支部）ら7人が午前9時半、事務所に集合。嶋守さんは「二時支援金のことを知らない業者も多い。元気に行動して、困っている業者を助け、仲間を増やそう」と行動を提起。神殿地域で2組に分かれてチラシを配布しました。

嶋守さんが理容店を訪ね、国民健康保険料が高ければ、減免できますよ」と声をかけると、若い男性店主が「ご丁寧に」と話し合いました。

行動の翌日の17日、元会員で飲食店を営むKさんがチラシを見て、「二時支援金を申請したい」と事務所に電話がありました。対応した上杉晴美事務局員は「ぜひ入会してもらいたい」と話しています。

どうも」と応えていました。宇野さんが訪ねた美容室では、二時支援金の説明に女性店主が熱心に耳を傾ける姿も見られました。また、チラシを配る浜中会長に、「何の活動ですか」と尋ねる自転車に乗った男性があり、「コロナで困っている人が多いので支援策を知らせているのです」と答えると、がんばって下さい」と激励してくれました。

参加者たちは昼前に事務所に戻り活動を交流。浜中会長が用意したコーヒーズリーを食べながら、「これからもがんばろう」と話し合いました。

行動の翌日の17日、元会員で飲食店を営むKさんがチラシを見て、「二時支援金を申請したい」と事務所に電話がありました。対応した上杉晴美事務局員は「ぜひ入会してもらいたい」と話しています。

鼓阪地域で材木店を営むTさんも一時支援金の相談で事務所を訪れ、尾谷朋香事務局員の説明に、支給の対象となることがわかり、税理士に法人税の申告書の控をもらって来ます」と話していました。

今井町散策

かつて「大和の金は今井に七分」といわれるほど繁栄した今井町。現在も大半の町家が大切に保存され、江戸時代の姿を残す街並を歩きます。

5月30日（日）10時～12時
近鉄八木西口駅 東出口前広場

主催 奈婦協 参加申し込みは婦人部まで



タイムスリップを楽しみませんか